

平成 31年
4月7日執行

栃木県議会議員選挙選挙公報

那須塩原市・
那須町選挙区

栃木県選挙管理委員会

あなたと創る
明日のちぎ
39歳
立憲民主党

自信を持って推せんしませう！
立憲民主党代表 枝野 幸夫
立憲民主党栃木県連合代表 福田 昭
連合栃木県地域協議会 議長 湯澤 充夫
小川まさひこ後援会 会長 柴田 明

小川まさひこプロフィール
■那須塩原市在住
1980年 栃木県芳賀郡市貝町生まれ
1998年 栃木県立宇都宮東高等学校 卒業
2003年 立命館大学経営学部経営学科 卒業
2005年 立命館大学大学院経営学研究科企業経営専攻 修了
2005年 大興電子通信株式会社 入社
2007年 デンヨー株式会社 入社
2018年 立憲民主党栃木県連合 幹事
同年 福田あさひお茶院議員秘書 現在に至る
●好きな言葉 善きこと、カタツリノの速度で動く(カンジ)
●好きな本 菜根譚(浜自誠)
●好きな食べ物 豆腐、納豆、トマト、お寿司
●趣味 柔道、サッカー、テニス

サラリーマン目線で県政刷新!! 39歳 那須地域に元気と笑顔を!!

- 取り組みます**
① 栃木の県債残高(借金)1兆1,245億円の削減!
県の中期財政支出見込みに基づく推計。では、県債残高は平成34年度では1兆1,269億となっています。今の少子化時代において、この借金を放置する事は子ども達にツケを押し付け、希望を失わせる事になります。民間企業の経験を活かして財政の無駄を厳しくチェックします。
- 助成金の更なる活用による企業活動支援!**
経済の活性化には、雇用の創出が欠かせません。那須は東京から約150kmと交通アクセス・立地に恵まれています。工場立地が手狭な東京、名古屋、大阪の企業へ助成金を活用し、工場建設を進めます。伊賀は本県(中野市)の自動車産業の連携や戦略的プロトタイプでできる拠点の設置、活用に取り組めます。
- 農林業や酪農業のブランド化を進め、更なる振興の推進!**
大消費地では安心、安全な農産品への強い需要があります。おいし、那須の生乳やその加工品の振興はもとより、にら、アスパラガス、ねぎなど、次なる農産物のリーディングブランドの育成、担い手の確保を通して更なる農林、酪農の活性化を図ります。
- 公共交通の拡充と利便性の向上で、交通弱者対策の強化!**
生活には、車などの移動手段が欠かせません。年齢に開かない生活が難しい生活を送るためにも、公共交通を拡充します。特に地域共助公共交通の充実を図り、県による地域への助成を通して、交通弱者の支援に力を取り組みます。
- 教育費の負担軽減、教育機会の公平と確保!**
家庭の経済状況によって、子ども達の受ける教育に格差が生じかねません。すべての子ども達に未来に希望を持ち、才能を伸ばしていけるように小学校36ヵ校の完全実施をはじめ補助の教育プログラム、そのほかにも一定の教育費補助の実施に取り組めます。
- 防災・減災対策の拡充や休日診療の拡大など、安全で安心でできる地域の表現!**
豪雨や地震によるおかり崩れや林地崩壊を防止するため、計画的な森林管理を行います。また、大規模災害時に対応出来る河川堤防の取組も進めます。さらには、大規模災害時に発生出来る河川堤防が孤立しない物流網を確保し、医療機関などの医療資源を適正に配置する等、休日のための人的な地方自治体も協力し医療提供体制の充実強化を図ります。

立候補にあたって
立憲民主党の小川まさひこです。一部の富裕層が優先される政治ではなく、地域の皆一人ひとりが主役となる政治を実現したいと思ひ、このたび立候補を志しました。今までの民間企業経験を活かし、栃木県政に「100」のツケを掛けたい。そして、安全で安心、何れも地域に活力がある那須塩原市・那須町を目指し、教育や医療、福祉、雇用対策など、真に必要なことによる施策展開が進むよう、全力で取り組んでまいります。那須塩原市・那須町における皆様のご希望、ご意見を是非私にお寄せください。全力で頑張ります。



立憲民衆 小川まさひこ
一九八〇年二月三日生 39歳

小林たつやの約束 まったなし! 地方創生

- 自然と共生のまちづくり**
自然環境の保全
エネルギーの地産地消の促進
産業廃棄物処理施設の立地抑制
- 安全なまちづくり**
災害に強いまちづくり
誰もが安心して暮らせるまちづくり
交通安全対策の推進
放射能に対する不安の軽減
- 快適な暮らしのまちづくり**
地域福祉の充実
障害福祉の充実
高齢福祉の充実

那須塩原市・那須町の皆様の声を県政に届けます!

- 文化を育むまちづくり**
子育て環境の充実
学校教育環境の整備
芸術文化環境の充実
生涯スポーツの推進
- 活力創出のまちづくり**
民間企業の活力を生かし東北経済基盤の向上を図る
那須塩原駅・黒磯駅・西那須野駅・黒田原駅周辺地の活性化支援
上黒磯と那須町簡地を結ぶ大橋の早期実現
高久駅周辺の改良整備 田代地区から高原地区歩道設置の促進
農業所得向上を目指す施設への支援
那須・板室・塩原観光のプロモーションとインバウンド事業への支援
塩原視力障害センター跡地の有効利用への支援 海外姉妹都市との交流支援
白河伊王野線整備促進 那須西郷線整備促進
- 土地利便性の向上**
土地利用の推進
公共交通の利便性の向上

プロフィール Profile
昭和42年4月12日(51歳) / 昭和55年3月那須町立黒田原小学校卒 / 昭和58年3月那須町立黒田原中学校卒 / 昭和61年3月栃木県立黒磯高等学校卒 / 平成2年8月有限会社しのぶや 入社 / 平成18年10月有限会社しのぶや 取締役就任 / 平成22年8月有限会社しのぶや 代表取締役就任(平成30年3月退任) / 平成23年7月のぶやシンカボール 取締役就任 / 平成25年6月のぶやマレーシア 取締役就任 / 平成30年3月那須町議会議員(平成30年12月13日辞職)



無所属
小林 たつや

昭和42年4月12日(51歳)

安倍政権 くらし最優先の県政に

消費税10%中止
国保税引き下げの
一票は 印南敏夫へ
日本共産党

- 印南敏夫への一票で 地方から安倍政治に審判を
- 消費税** 10%増税はキツバリ中止に。アベノミクスで大儲けした大企業と富裕層にのびのびの負担を。
 - 憲法** 9条改憲、海外で戦争できる国づくりを平和と日本に。
 - 原発** 原発ゼロの日本へ。再生可能エネルギーの普及を。東海第二原発の再稼働は中止を。
 - 沖縄新基地** 県民投票で71.7%が「辺野古新基地に反対」。安倍政権は民意にしたがい中止の決断を。

- 全国9位の財政力を もっとくらし応援に
- 高すぎる国保税の値上げ許さず、公費1兆円投入で大幅引き下げを
 - 県の制度を拡充し、18歳まで医療費は窓口無料に
 - 市町を支援し学校給食無料化を
 - 介護保険の負担軽減とサービスの拡充を
 - 県版住宅リフォーム制度の創設を
 - 種子法廃止のもと県が責任持つ条例の制定を



日本共産党 印南敏夫
いんなみとしお
1952年2月4日生(67歳)

この選挙区から一人はハッキリも言える日本共産党の議員を

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版によって印刷したものです。なお、掲載順はくじにより決定しています。)